

第5回障がい者(児)就労スキルアップ研修会(和歌山会場)

平成26年11月1日(土)

和歌山大学 観光学部棟 T101大教室 他

和歌山県和歌山市栄谷930番地

TEL 073-457-8542

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

第5回

障がい者(児)就労スキルアップ研修会

誰もが地域で安心して暮らせるために

- 1 とき** 平成26年11月1日(土)
- 2 ところ** 和歌山大学 観光学部棟 T101 大教室 他
和歌山県和歌山市栄谷930番地 TEL.073-457-8542
- 3 日程**
- ◆ 職場マナー研修 10:00~11:30
講 師 一般社団法人 ワークワーク A型事業所
理事 大宮 紀子氏
 - ◆ 基調講演 13:00~14:30
演題 「障害福祉の動向」
講 師 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課
就労支援専門官 山科 正寿氏
 - ◆ 研修会 14:45~16:45
 - 第1分科会
テーマ 「障がい者の雇用を考える」
~障がい者が働き続けるために~
 - 第2分科会
テーマ 「農福商連携事業」
~障がい者の働く場の拡大を目指して~

主催 NPO法人 福祉ネットこうえん会
福井県福井市島寺町92-15 TEL 0776-98-4170

共催 和歌山大学教育学部附属特別支援学校

後援 和歌山労働局 近畿農政局 和歌山県 和歌山県教育委員会
和歌山市 社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会
国立大学法人 和歌山大学 和歌山高齢・障害者雇用支援センター
和歌山県中小企業家同友会 和歌山県就労継続支援A型事業所連絡協議会



会場のロビーでは、事業所紹介のコーナーもありました。

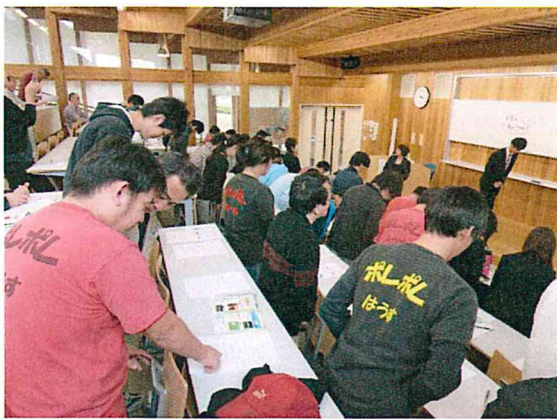


早くから受付も混雑

● マナー研修



職場マナー研修の始まり、マナーは「笑顔？」



お礼の仕方「会釈(約15度)」



地元企業の職員さんにも手伝っていただきました。



働く場で守りたいこと



ワークワーク理事大宮紀子先生の軽妙なトークで、皆を引き付けます。



突然、変なお姉さんが出て来て……、うまく対応できました。



あいさつの練習。やっぱり「やってみる」が大事

● 基調講演



約90名の参加者があり、新しいことを学ぶと共に、日頃自分達の提供しているサービスの見直しの機会にも。



共催いただいた「和歌山大学 教育学部附属特別支援学校 校長 赤松純子 氏」のごあいさつ



演題:「障害福祉の動向」
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 就労支援専門官 山科正寿 氏 の熱弁

●第1分科会 「障がい者の雇用を考える」



司会進行は、和歌山県就労継続支援A型事業所連絡協議会 理事 **大久保 義則 氏**
シナリオのない中、皆さんの発言をうまく引き出していました。



パソコンで資料を見たり、メモを取ったり、日頃の思いを熱く語っていただきました。

●第2分科会 「農福商連携事業」



司会進行は、NPO法人 就労継続支援A型事業所協議会 理事長 **萩原 義文 氏**



古くから障がい者が農業に関わることは有りました。それを「制度」として、双方が取り入れるためにはどうするのか「新しい問題」として意見交換。

● 交流会



法人トップの方、指導員、就労されている障がい者の方が、講師の先生も含めて、意見交換。アツという間の2時間でした。



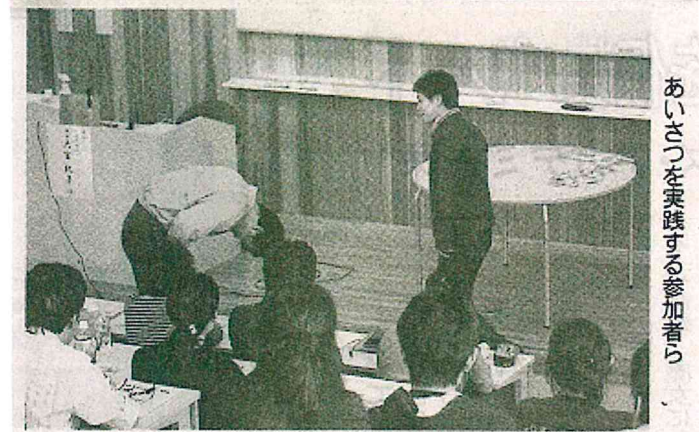
メイン会場の
和歌山大学観光学部棟 へ



その様子が
11月6日の地元「わかやま新報」
に掲載されました。

2014年（平成26年）11月6日（木曜日）
わかやま新報

A型事業所紹介ポスターの一部



あいさつを実践する参加者ら

和歌山

障害者の就労研修会

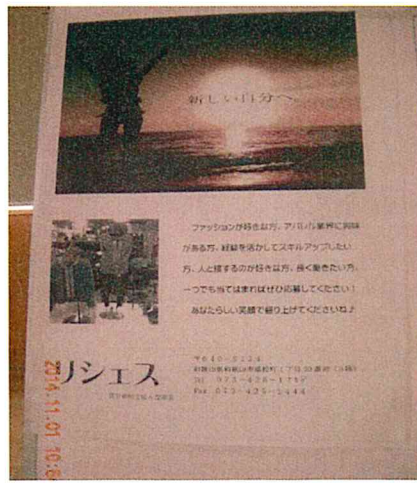
地域の課題や情報を共有

障害のあるて、地域での課題や人とその家族 情報を共有し合っ
らが就労に関た。
する知識、技 職場マナー研修で
術を学ぶ「障がい者 は、一般社団法人ワ
就労スキルアップ研 ークワークの大宮紀
修会（NPO法人福 子さんが、同僚など
祉ネットこうえん会 を「さん」付けて呼
主権）が1日、和歌 ぶ、敬語を使う、ル
山市栄谷の和歌山大 ールを守ることの
学で開かれ、約15 切さを伝えた。ま
0人が参加。職場マ だ、「お疲れさま」「ご
ナーの研修を通し 安全に」といった仲

間同士のコミュニケ ーション、菓子販売 店を想定した接客の 仕方を説明。参加者 も体験することで理 解を深めた。

障害福祉の動向、 雇用や農産物連携事 業に関する講演会と 分科会もあった。

同研修会は本年 度、岡山、埼玉など 全国8カ所で開催す る。同NPOの林田 恒正会長は「雇用は 進んでいるが、人間 関係がうまくいかず に辞める人が増えて いる。実践的に身に 付けていってもらえ れば」と話してい



❀ 共催いただいた団体の皆様、お手伝いいただいた皆様、ありがとうございました。❀

第6回障がい者(児)就労スキルアップ研修会(浜松会場)

第1日目 平成27年1月30日(金)

●見学会

テーマの一つである「農福商連携」を既に実行し福祉が絡んで農業の6次化に貢献している事業所を視察

①(株)ひなり浜松事業所

東京本社の特例子会社が、労働力を提供(請負)



②京丸園(株)



農業を営む事業者が、障がい者を労働力として受け入れ。
チンゲン菜を1日2万本出荷(その他も栽培)整然としてきれいな職場。
苗作りの農家と、障害者の作業範囲を分ける。また、作業を徹底的に分析し、障がい者の作業効率化を図る工夫。

③ぐっと((社福)遠浜会)



地元農家さんとタイアップ。野菜の受託販売と共に、軽食カフェは手作りどんぶりを主体に、ヘルシーメニュー等が地元で大人気のお店。



年1回の浜松市のお祭りに使う「軒下花」の製造も主な作業。



見学会参加の皆さんと美味しくいただきました。「お運びさん」はすべて利用者の方。番号札の取り扱いも慣れたもの。お膳の向き等、細かいところもきちんと出来ました。



地元農家さんのお野菜

第2日目 平成27年1月31日(土)

サーラシティ浜松 3階スクエアA. B 他

静岡県浜松市中区砂山町155-1

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

第 6 回

障がい者(児)就労スキルアップ研修会

誰もが地域で安心して暮らせるために

1 と き 平成27年1月31日(土)

2 と ころ サーラシティ浜松 3階スクエアA.B 他
静岡県浜松市中区砂山町155-1

3 日 程 ◆ 職場マナー研修 10:00~11:30
講 師 株式会社 LITALICO ウイングル浜松センター
職業指導員 高橋 美穂 氏

◆ 基調講演 13:00~14:30
演題 「障害者雇用の動向」
講 師 厚生労働省 職業安定局 雇用開発部
障害者雇用対策課長 宮本 直樹 氏

◆ 研修会 14:45~16:45

第1分科会

テーマ 「更なる工賃(賃金)向上を目指す」
~障がい者が自立した生活を送るために~

第2分科会

テーマ 「農福商連携事業」
~障がい者の働く場の拡大を目指して~

主 催 NPO法人 福祉ネットこうえん会
福井県福井市島寺町92-15 TEL 0776-98-4170

後 援 静岡労働局 関東農政局
浜松市 浜松市教育委員会
社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会
静岡新聞社・静岡放送



● **マナー研修** (10:00～11:30)

講師 (株) LITALICO ウィングル浜松センター
職業指導員 **高橋 美穂** 氏



サービス管理責任者 **玉木 祐次郎** 氏



講師高橋さんとロールプレイモデルの玉木さんとの、絶妙のコンビにより、非常に分かり易かった。



聴講予定の皆様も、つられて全員で「ごあいさつ」の練習

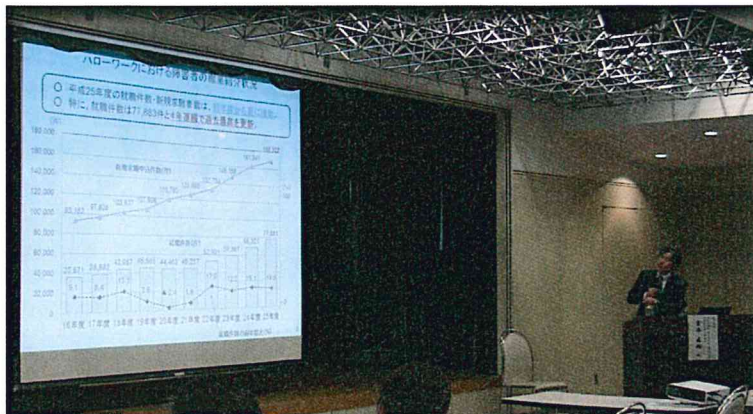
● **基調講演** (13:00～14:30)



福祉ネットこうえん会 林田会長
午後の講演の開会あいさつ
お世話頂いた浜松市当局・地元の企業・法人等にお礼

演 題 「障害者雇用の動向」

講 師 厚生労働省 職業安定局 雇用開発部
障害者雇用対策課 課長 宮本 直樹 氏



労働行政側から見た、障がい者の雇用を説いていただきました。
これからは、差別禁止・合理的配慮も重要課題になる。



メモを取りながら、非常に熱心な聴講者(約100名)

● **研修会** (14:45~16:45)

第1分科会

テーマ「更なる工賃(賃金)向上を目指す」
～障がい者が自立した生活を送るために～



進行:特定非営利活動法人 六星 ウィズ半田
斯波 千秋 氏



自己紹介の後、それぞれご意見をいただきました。



宮本課長様からも、まとめのアドバイスをいただきました。

第2分科会

テーマ「農福商連携事業」～障がい者の働く場の拡大を目指して～



テーマの「農福商連携事業」は、全く新しい言葉ですが、農林水産省の目玉行政の一つ、今後が注目されます。地元には早くから取り組まれた事業所がある反面、参加の皆様が同じ思いとはならないようで、今回の皆様の話聞いて「これから考えてみようかな！」との発言も…。

● 交流会



研修会最後の行事「交流会」名の通り名刺交換、自己PRの場として活用されていました。出世大名「家康くん」にちなんで、この研修会もますます出世をいたしたい。

朝からの長時間の参加、ありがとうございました。

障害者 就労へ研修会

中区 マナーなどスキルアップ



お礼の仕方などマナーを指導する高橋さん＝浜松市中区で

障害者を対象にした就労スキルアップ研修会が三十一日、浜松市中区のサーラシティ浜松で開かれた。知的障害者や支援者ら二十人が、礼の仕方など社会に出てからのマナーなどを学んだ。

日本財団の助成を受けた。日本財団の助成を受けた。

「ウイングル浜松センター」(同区)職業指導員の高橋美穂さんが、礼をする時は腰から上体を曲げてゆっくり頭を上げるという作法を、ともに練習しながら教えた。

就労へマナー研修

中区



丁寧な挨拶の仕方を実践する参加者。浜松市中区のサーラシティ浜松

障害者支援に取り組むNPO法人福祉ネットワーク(福井県)は1月31日、就労定着や周知を目指すスキルアップ研修会(静岡新聞社・静岡放送後援)を浜松市中区のサーラシティ浜松で開いた。障害者や事業所職員が

「ウイングル浜松センター」(同区)職業指導員の高橋美穂さんが、お辞儀や名刺交換のポイントを説いた。参加者は「相手の目を見る」「腰から上体を傾げる」など二つの所作を確認した。

NPOは本年度、浜松など全国8カ所で研修会を開いている。厚生労働省の担当者によ

丁寧な挨拶の仕方を実践する参加者。浜松市中区のサーラシティ浜松

る障害者雇用の現状説明、「賃金向上」や「農業と福祉の連携」をテーマにした意見交換会も開かれた。